

ナノ・ソルテック㈱
代表取締役

増田 耕治 氏

執行役員 エレクトロニクス本部長

小林 和彦 氏

ナノ・ソルテック㈱
(横浜市中区元浜町3-21-2、☎045-222-8438)は、2011年に設立した中古半導体製造装置・検査装置のサプライヤーだが、創業以前からこれら中古装置の販売・保守(立ち上げ付き)を行っている。

代表取締役の増田耕治氏、執行役員 エレクトロニクス本部長の小林和彦氏に、ビジネスの概況や今後の成長戦略などを聞いた。

19年度も下期に入りましたが、貴社のビジネスの概況についてお聞かせ下さい。

増田 中古検査・測定装置を中心に堅調な引き合いをいただいております。現時点で収益はすでに18年度レベルを確保することができました。このため、現在は来期におけるさらなる成長に向けたビジネスの足場固めを進めているところだ。



展示・デモ機能備えた新本社 検査装置中心に取り扱い拡充

具体的な取り組みは。

増田 現在当社では、本社のほかに装置のリファが行える横浜テックセンター、18年には藤沢ストックセンターを開設し3拠点体制を構築している。しかし、全体的に手狭になったことから、20年1月末の竣工を目指して、シヨールム・デモセンターの機能を備えた新本社(横浜市港北区新羽町2032)の立ち上げを進めている。1階は広さ200㎡のクリーンルームを備えた社屋となる。

20年3月の移転を予定しており、現本社と横浜テックセンターの機能を統合、藤沢ストックセンターは継続して維持する計画だ。

——中古装置においても、きちんとデモを行いたいというニーズがありますね。

小林 そのとおりだ。実ウェアを用いて検査のデモを行いたいというお客様も多い。そのため、

④増田氏 ⑤小林氏

新本社に設置するデモセンターでは、電源を特別に組み上げ、装置を3台同時に稼働できる体制を整える。

——事業領域の拡大に向け、取り扱い装置の拡充も進めています。

増田 KLA社製装置を中心に手がけているが、Applied Materialsの全自動欠陥レビュ装置「SEM Vision」シリーズの中古装置(CXからG3まで)を提供・サポートできる体制を整え、事業の幅が広がった。また、当社ではSEM Visionに使用できる新型EDXの取り扱いもスタートしている。従来品と異なり、空冷式であるためフィルターの定期交換が不要となる。

——そのほか、欠陥データ管理システムなども

——新本社の外観イメージ



手がけていますね。

小林 当社では、明視野欠陥検査装置で欠陥を捉え、そのデータを欠陥データ管理システム(韓国ミレロ社製)で蓄積、レビュSEM(SEM Vision)でキラ

ー欠陥を解析して歩留まり改善に結びつけることも提案可能だ。中古装置でインシャルコストを抑えたアプローチによって、これからもお客様の検査・測定技術ニーズに対応していく。

——例えば、パワー半導体では国内で300mmの検討も進められていますが、今後の展望は。

増田 検査・測定装置は、0年ごろからの300mm化に合わせて、同一システムで200mm/300mmウェアの両方に対応するプリジツツールと呼ばれる装置が、当時市場に多く出回った。1台で2サイズのウェアを使用できるという点で、300mmの開発用途にマッチすると考える。

当社では、お客様のニーズを見極めながら、中古の仕入れをしっかりと確保して、柔軟に対応していきたい。

(聞き手・清水聡記者)

①はトランシーバー向けにデザインイン
4-9 ハー向けに低
備投資(取得ペース)に
切計画の約12.4億円を
週に佳多した
秘が第4
生西を備
扱がな
業への納入を滞りなく進め
08億円)、営業利益61
5G対応技術動向
2月6日開催
料開発動向 利率